

2018.9.01

カンナビジオール  
**CBD** 事業要旨

**CBD(カンナビジオール)**

は大麻草に含まれる

**カンナビノイド (総称)**

成分の一つで体内のCB<sub>2</sub>受容体と結合して主に免疫向上  
に資する

**「生体恒常性維持」**

という特異な調整機能を発揮します。

"人の体内には人間が地球上で生きていく為に  
ホメオスタシス  
即ち、恒常性維持というシステムが存在します。  
食欲、痛み、免疫調整、感情抑制、運動機能、発達と老化、  
神経保護、認知と記憶、などの機能を  
細胞同士のコミュニケーション・システム  
で支えています"

カナダHEMPCOの  
独占ディストリビュータ

HEMPCOはCBD大手  
AURORAの傘下

カナダ大麻製品  
全面解禁10.17

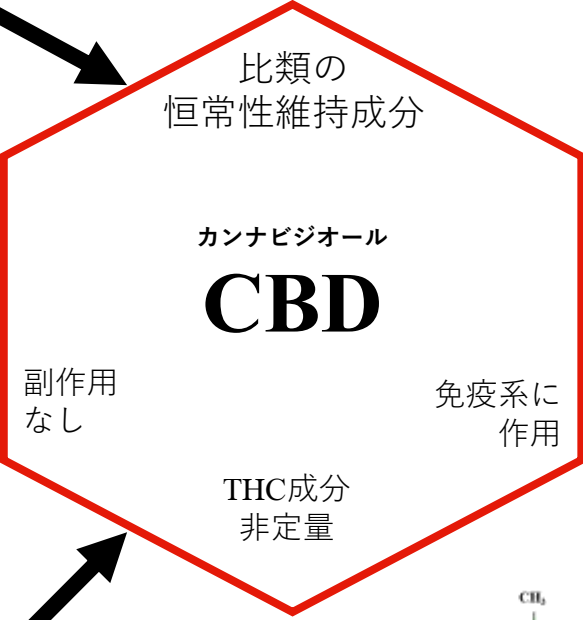
WADAがCBDを  
指定薬物リストから削除

免疫系作用効果確認

「未病」効果で  
各国行政が注目

大麻関連株への  
投資激増

医療用大麻研究加速  
(日本未認可)



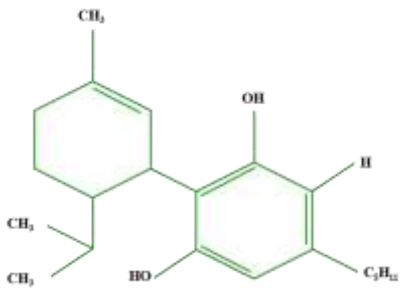
CBDオイル  
(ヘンプシードオイル使用)

産業規模  
(5年後3.2兆円)

新成分採用商品  
急増予測

CBD日本市場活性化

- 飲料
- 健食
- サプリ
- コスメ
- 製薬



# 《効能》

- 鎮痛・炎症緩和  
(鎮静耐性を起こさない)
- 不安軽減  
(抗パニック障害、抗PTSD, 抗睡眠障害)
- 発作抑制  
(英GWファーマ社がてんかん薬開発中)
- 神経保護  
(米政府がCBDの神経保護作用について特許を保有)
- 抗精神病  
(統合失調症効果を検証中)
- ガン治療  
(腫瘍細胞を選択的に阻害)
- 抗酸化作用  
(アンチエイジング)

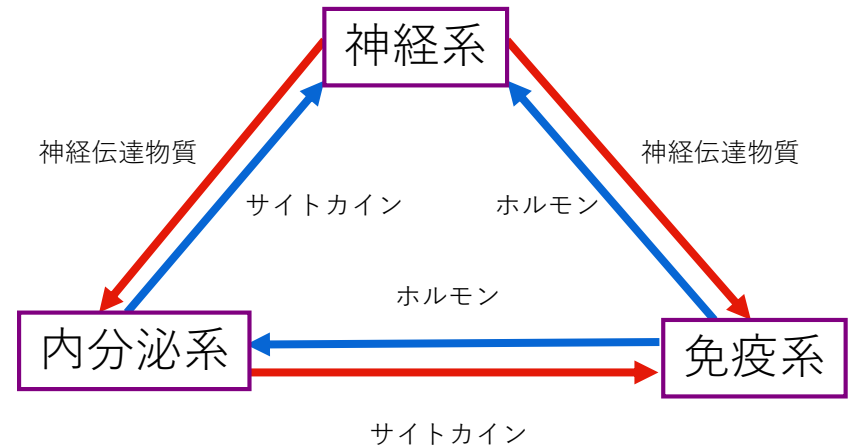
※ 発達障害 (自閉症など) に改善効果を確認

# 《メカニズム》

THC成分は体内のCB<sub>1</sub>受容体に結合して精神系に作用。

CBD成分はCB<sub>1</sub>との親和性がなくCB<sub>2</sub>受容体と結合して内因性カンナビノイド系を介して免疫系に作用。

副作用が無いのが特徴。



# 《事業の優位性》

## Hempco・Aurora グループの「日本ディストリビュータ」

- ☆ (株) 日本ヘンプが独占権'取得 (2018年)
- ☆ 指名は (株) 日本ヘンプ代表者の堀川個人も同等
- ☆ カナダ大使館が仲介した経緯で関係性や設定は安全
- ☆ 正式にCBD販売活動をスタートする場合は、事業体は、日本ヘンプ、新会社、Hempco Japan, Aurora Japan (要交渉) など自由度確保

- ⬡ 10.17の大麻解禁と北米での大麻関連株が高騰
- ⬡ Auroraは世界戦略の一環でHempco所有のアルバータ州NiskuのCBD抽出最新工場建設 (1,500坪)
- ⬡ AuroraはEU内で企業買収、新たに10万坪の栽培能力増加
- ⬡ Hempcoが持つ既存のファイバーや食品やプロテイン生産能力を評価・活用。大麻草を無駄なく製品化でき栽培コストの半減を狙う。
- ⬡ Auroraはアジアにコンタクトがなく、また規制が厳しく市場と判断。
- ⬡ アジア以外には世界17箇所にディストリビュータ契約がある。
- ⬡ 日本市場に注目していたHempcoの意思を評価して現在はHempcoの判断を尊重する姿勢。

## 大麻草 (産業用大麻) は許可農作物。

栽培、収穫、成分抽出には

- ⬡ 栽培許可  
(申請⇒審査⇒許可⇒栽培試験⇒検証⇒改善など10年)
- ⬡ 栽培ノウハウ・データ蓄積  
(数年単位では困難)
- ⬡ オーガニックヘンプ生産は百万キロ達成まで15年。
- ⬡ CBD抽出は特に技術、設備、人材が必須要件。
- ⬡ 研究開発分野が先行している企業の先手必勝が予測される。

『この絶好機に日本の事業体としてCBD大手の正規ディストリビュータ権益・資格を得て展開できる』

【注】資金があっても他業種から新規参入して栽培、抽出できる種類の産業ではない！

【注】需要・供給の総量は明確ではないが、カナダの市場規模は医療用9,000億円、大麻関連2,3兆円、世界4.2兆円、内CBD関連は25%！（5年後予測）

# 第一章

## CDBは、たくさんの疾患で研究が進んでいます

CDB (カンナビジオール) は、世界で最も使われている医学・生物学系の学術データベース「MEDLINE(メッドライン)」によると1000論文以上の研究が行われています。この中で動物やヒトの臨床試験を実施して論文になったものは、約100疾患あり、それらの論文の信憑性(レベル)を評価したのがこの疾患リストです。★印が3つ以上ものは研究結果レベルが高く、★2つ以下であっても、今後の研究に期待がかかる疾患です。

疾患名	研究数	CHIスコア
進行性がんに伴う痛み	2	★★★★★
皮膚がん(非黒色)	2	★★★★★
胃食道逆流症(GERO)	1	★★★★★
不眠症	1	★★★★★
神経障害・エイズ関連	2	★★★★★
線維筋痛	3	★★★★★
化学療法に伴う悪心・嘔吐(CINV)	24	★★★★★
嘔吐(合計)	27	★★★★★
糖尿病性潰瘍	1	★★★★★
皮膚炎/湿疹	1	★★★★★
統合失調症	4	★★★★★
全身性硬化症	1	★★★★★
創傷(手術後)	1	★★★★★
消化管の炎症性疾患(合計)	4	★★★★★
トウレット症候群	10	★★★★★
脊髄損傷	5	★★★★★
咳	3	★★★★★
掻痒(かゆみ)	3	★★★★★
痛み(合計)	14	★★★★★
不安	4	★★★★
多発性硬化症(MS)	26	★★★★
パーキンソン病	4	★★★★
ぜんそく	7	★★★★

疾患名	研究数	CHIスコア
関節リウマチ	3	★★★★
返答通	3	★★★★
肺疾患(合計)	12	★★★★
神経疾患(合計)	69	★★★★
がん誘起寝汗	1	★★★★
ヤコブ病	1	★★★★
膀胱炎(間質)	1	★★★★
HIV/AIDS	1	★★★★
夜間視力改善	1	★★★★
つわり	1	★★★★
神経障害	5	★★★★
脳腫瘍/神経膠腫/神経膠芽腫	9	★★★★
心臓病	7	★★★★
うつ病	8	★★★★
精神疾患(合計)	24	★★★★
神経保護特性	4	★★★★
皮膚疾患	4	★★★★
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	7	★★★★
骨肉腫	3	★★★★
脳血管障害(CVS)	3	★★★★
炎症性腸疾患(IFS)	3	★★★★
肝炎	3	★★★★
炎症性疾患(合計)	17	★★★★

疾患名	研究数	CHIスコア
発作(てんかん)	5	★★★
ウイルス感染症(合計)	12	★★★
アルツハイマー病	4	★★★
食欲不振/悪液質	11	★★★
高血圧	2	★★★
子宮内膜症	2	★★★
多毛症	2	★★★
慢性非悪性の痛み	2	★★★
状赤血球症	2	★★★
抜け毛/はげ	2	★★★
心臓血管の健康	12	★★★
アルコール依存/乱用	4	★★★
心的外傷後ストレス障害(PTSD)	3	★★★
せん妄	4	★★★
糖尿病	5	★★★
産科と婦人科(合計)	5	★★★
緑内障	9	★★★
ジストニア	5	★★★
ハンチントン病	5	★★★
エイジング/アンチエイジング	1	★★★
関節炎	3	★★★
アテローム性動脈硬化症	3	★★★
子宮頸がん	2	★★★
肝腸癌	2	★★★
腫瘍	2	★★★
熱性発作	2	★★★
歯周炎	1	★★★
性欲	1	★★★

疾患名	研究数	CHIスコア
乗り物酔い	2	★★
乳癌	6	★★
がん(合計)	60	★★
肺癌	4	★★
骨粗しょう症	3	★★
へるべす	3	★★
双極性情動障害(BAD)	5	★★
甲状腺がん	2	★★
慢性閉鎖性肺疾患(COPD)	2	★★
肺炎	2	★★
月経痛	2	★★
白血病	5	★★
大腸癌(大腸)	3	★★
加齢黄斑変性症(ARMD)	1	★★
細菌感染	1	★★
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	1	★★
メラノーマ(悪性皮膚がん)	1	★★
リンパ腫	2	★★
前立腺癌	3	★★
カボシ肉腫	2	★★
横紋筋肉腫	2	★★
自閉症	0	?
淋病	0	?
出産の痛み	0	?
風邪・インフルエンザ	0	?
痔	0	?
流産	0	?
妊娠	0	?

注) CHIスコアとは、The Cannabis Health Index(2013)によるもので、効果のあった疾患リストではありません。  
注) また、この疾患リストには、THCおよびCBDとの相乗効果を研究した論文も含まれています。

日本臨床カンナビノイド学会編『カンナビノイドの科学』の一部を抜粋した小冊子より

株式会社 I.H.M.  
(<http://hado.com/>)